

様式第五十の三（第48条第6項関係）

認定事業再編計画の実施状況の概要の公表

1. 認定の日付

令和4年3月28日

2. 認定事業再編事業者の名称

UBE三菱セメント株式会社

3. 認定事業再編計画の実施期間

令和4年4月1日～令和7年3月31日

4. 事業再編に係る事業の達成状況等

（1）事業再編に係る事業の達成状況

認定計画に基づき、以下のとおり事業再編を行った。

（事業の構造の変更）

三菱マテリアル株式会社および宇部興産株式会社（現在のUBE株式会社）のセメント事業等をUBE三菱セメント株式会社に承継させる吸収分割、ならびに、UBE三菱セメント株式会社を存続会社、セメント販売・物流機能を有していた宇部三菱セメント株式会社を消滅会社とする吸収合併を令和4年4月1日に実施した。

本統合を契機に、主力事業たる国内セメント事業を対象に、生産体制の最適化、ならびに川下領域の事業を含めた販売・物流体制の再構築等を行い、バリューチェーン全体の最適化を図るべく、令和5年3月31日で青森工場（セメント）の操業を停止するとともに、伊佐セメント工場の生産縮小（1号キルンの停止）を実施した。更なる効率化のために、令和6年4月1日に旧社の操業体制でスタートした苅田セメント工場（旧UBE株式会社）、九州工場（苅田地区、黒崎地区）（旧三菱マテリアル株式会社）を統合し九州工場（苅田第一地区、苅田第二地区、黒崎地区）とすることで操業体制の効率化を図った。

（前向きな取組）

バリューチェーン全体の最適化を図ることにより、2024年度に、セメント製品1単位あたりの製造原価率を5%以上低減することを目標としていたが、令和4年度以降ロシアのウクライナ侵攻や大幅な円安進行等によりエネルギー価格が急騰し、当社は未曾有の厳しい事業環境に晒された。大幅なセメント価格の値上げ、青森工場の操業停止、伊佐セメント工場の生産縮小及び各工場における低品位炭の使用増量等の損益改善策を立て続けに講じ、業績改善を図ったものの、製造原価率は1.3%増加し未達となった。

但し、上述の激変したエネルギーコストの影響を除いた製造原価率では、最終年度は基準年度に対して、64.4%から56.1%となり、12.9%減少した。

(2) 生産性の向上を示す数値目標の達成状況

計画の対象となる事業の生産性の向上としては、令和4年度には令和2年度と比べて、従業員一人当たりの付加価値を11%向上させることを目標としていたところ、28%向上と目標達成した。

なお、財務内容の健全性としては、令和4年度において、有利子負債はキャッシュフローの2.2倍、経常収支比率は121.7%となった。

5. 事業再編に伴う労務に関する事項

(1) 事業再編の開始時期の従業員数

三菱マテリアル株式会社(セメント関連事業の従事者)：計画 884 人 実績 884 人

宇部興産株式会社(セメント関連事業の従事者)：計画 965 人 実績 965 人

宇部三菱セメント株式会社(セメント関連事業の従事者)：計画 282 人 実績 282 人

UBE三菱セメント株式会社：0 人

(2) 事業再編の終了時期の従業員数

三菱マテリアル株式会社(セメント関連事業の従事者)：計画 0 人 実績 0 人

宇部興産株式会社(セメント関連事業の従事者)：計画 0 人 実績 0 人

宇部三菱セメント株式会社(セメント関連事業の従事者)：計画 0 人 実績 0 人

UBE三菱セメント株式会社：計画 2,131 人 実績 2,011 人

(3) 事業再編に充てた従業員数（令和7年3月実績）

三菱マテリアル株式会社(セメント関連事業の従事者)：計画 0 人 実績 0 人

宇部興産株式会社(セメント関連事業の従事者)：計画 0 人 実績 0 人

(4) (3)中、新規採用された従業員数（令和7年3月までの実績）

三菱マテリアル株式会社(セメント関連事業の従事者)：計画 0 人 実績 0 人

宇部興産株式会社(セメント関連事業の従事者)：計画 0 人 実績 0 人

宇部三菱セメント株式会社(セメント関連事業の従事者)：計画 0 人 実績 0 人

UBE三菱セメント株式会社：計画 188 人 実績 137 人

(5) 事業再編に伴い出向又は解雇された従業員数（令和7年3月までの実績）

三菱マテリアル株式会社(セメント関連事業の従事者)：計画 0 人 実績 0 人

宇部興産株式会社(セメント関連事業の従事者)：計画 0 人 実績 0 人

宇部三菱セメント株式会社(セメント関連事業の従事者)：計画 0 人 実績 0 人

UBE三菱セメント株式会社：計画0人 実績166人